

## 輸出回復の広がり、国内景気の下振れリスクをサポート

Raku  
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

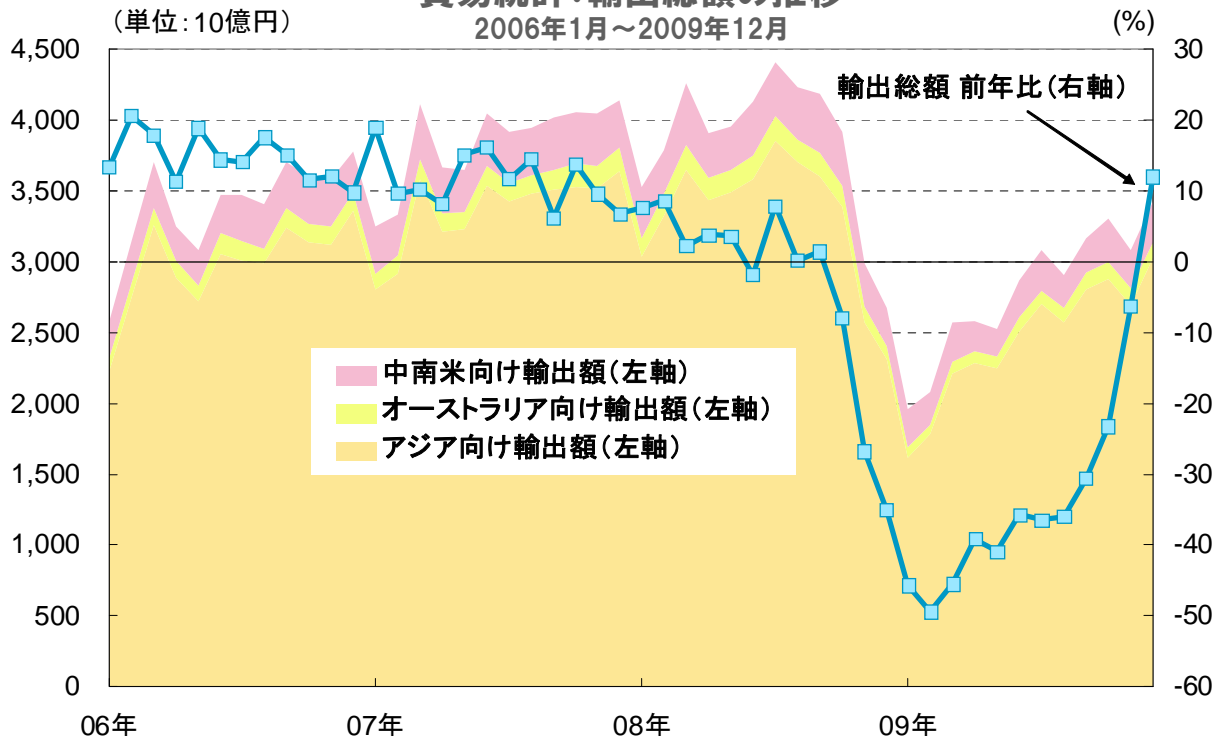
27日発表された昨年12月の貿易統計は、輸出額が1年3ヵ月ぶりに前年比+12.1%とプラスに転じ、輸入額も同▲5.5%と前月の同▲16.8%に比べてマイナス幅が縮小しました。地域別の輸出額を見ると、米国向け同▲7.6%、EU向け同+1.4%、アジア向け同+31.2%、中国向け同+42.8%と、輸出総額の半分以上を占める、アジア向けの好調な需要に輸出が牽引されていることがわかります。さらに、オーストラリア向け同+20.1%、ブラジル向け同+11.0%、メキシコ向け同+11.4%など、輸出改善が目立つ地域は拡大しており、アジアのほかにも、資源国や中南米諸国の好調な景気の恩恵が、日本の輸出に波及してきています。

アジア向け、中南米向け、オーストラリア向けを合わせた輸出額は、既に06年後半～07年前半の水準にまで回復しており、08年後半からの世界的な経済ショック以前の水準に戻っていることがわかります。これらの国・地域は今年も堅調な経済成長が見込まれており、引き続き日本および世界景気を牽引すると考えられることから、日本の輸出もさらなる回復が期待できると思われます。日本経済は、再び輸出主導の回復ステージに入ってきたとみられ、国内景気の下振れリスクは、旺盛な海外需要によってサポートされる可能性が一段と高まっていると言えるでしょう。

### 世界経済を牽引する地域の旺盛な需要が、日本の輸出に本格的に波及

#### 貿易統計：輸出総額の推移

2006年1月～2009年12月



※財務省データをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。